



Gala  
Plate



Gala  
Plate

ここはがあら。

あらゆる幸に恵まれた豊かな土地、

冒険者達や一般人によって調和が保たれている、

自由の国。

秋の気配を感じさせる、すこし肌寒い午後の時間。  
あてもなく故郷を飛び出した「あなた」は、  
長い旅路のはてに、この街へたどりつきました。

行き交う人々の声に誘われて、  
繁華街の噴水広場を通りかかります。  
見知らぬ土地で頼るひともなく、足はふらふら。  
天使像のかわいらしい微笑みも、  
「あなた」の目には、どこかよそよそしく感じられました。

おなかをすかせて歩いていると、  
向かいの店から、美味しそうな香りがただよってきます。

◆酒場の娘>>旅人さん、いらっしやいませ。  
冒険者の酒場へ、ようこそ。

扉を開くと、白いエプロンをした娘がやわらかい声で  
出迎えてくれました。

この時間の客はまばらで、  
カウンターの奥ではマスターがグラスを磨いています。  
窓からそよぐ風に誘われて、「あなた」はひとり、  
テーブル席にすわりました。

◆酒場の娘>>ウチははじめてですか？

おすすめでしたら、ぜひこちらを。  
カンパイからデザートまで、があらを食で巡る、  
当店自慢のコースです。

その料理を食べてみたら、  
この街のことがもっとわかるかもしれない。

すすめられるがままに頷くと、  
娘は嬉しそうに厨房へ注文をつたえにゆきました。

夕陽がカーテンを透かし、店内をくれない色に染めていきます。  
通りを歩くひとたちの影は、かげろうのように床をただよい、  
話し声や笑い声は、とおくの空から響いてくるように聞こえるのです。



冒険者の酒場セット

◆酒場の娘>>おまちどうさま!  
まずは長旅の疲れを癒してくださいな。

運ばれてきたものが、からっぽの胃袋を刺激します。

すぐさまエールで喉をうるおし、燻製肉の味をかみしめました。

◆酒場の娘>>ウチはいろんな冒険者さん達に

ひいきにして頂いているの。

あなたのお口にも合うようで、よかったわ。

冒険者。

物語の中でしか知らなかったそのかたがきに、

「あなた」はひっそり思いをはせます。

そう呼ばれるかれらはきっと、

自分にはない強靱なところとはがねの肉体、

知恵と勇気と特別な力とを持っているに違いありません。

娘はくすくす笑って答えました。

◆酒場の娘>>冒険者っていうのはね、  
はじめの一歩を踏み出せるヒトのこと。

マスターの受け売りなんですけどね。

そう語る娘の慣れた口調から察するに、  
「冒険者」とはどうかやらずっと身近な存在であるようです。

エメラルド色の若葉が沈むグラスに口をつけ、  
ひろがる爽やかな香りに思い出す光景があります。  
があら街の入り口、街を見下ろす丘の上に見えた大きな樹。  
目を閉じれば聞こえてくる梢の歌。  
風に揺られてさわさわと、やさしい音を奏でています。  
世界樹と呼ばれて慕われるその大木は、  
旅立つものを見守り、訪れるものを寿ぐのだそうです。

それは、不安なところを抱いたまま進むべき道を進む、  
「あなた」の背中をそっと押してくれるようでもありました。

いつしか日が落ちて、店内のランプには火が灯されました。  
眠っていた店内が、ゆっくりと目を覚ましていくようです。  
そこで目をひいたのは、壁にはられたがらの街の地図でした。

丘の上の世界樹

冒険者の酒場

天使像の噴水広場

潮風の港町

エルフの森

山頂の大聖堂

城塞に続くシルクロード

古代魔法王国の遺跡

...

どんなところなんだろう？

そこにはいったい、なにが待っているのだろう？

ぼうっと眺めているところに、次の料理が運ばれてきました。



盛り合わせプレート

◆酒場の娘>>があら各所のシンボルを、料理にしてみました。  
どの料理がどの場所か、わかるかしら？



天使のオムレツ



朝風のマリネ



森の恵みカナッペ



ステンドグラスジュレ



シルクロード風壺窯チキンティッカ



ローストビーフ～ブラッディソース和え～

新鮮な野菜とたまご、ぷりぷりの魚身、肉のうまみ。  
ていねいに調理された料理の数々を、  
「あなた」はペロリとたいらげてしまいました。  
すっかり落ちついた胃をなでながら、  
あらためて街の地図をながめます。

そこはけっして、とおく離れた世界ではありません。  
いずれ訪れるであろうあなたの舞台そのもの。  
すべてはここから始まるのです。  
いつしか心には、冒険者へのあこがれが芽生えていました。

リュートを片手に吟遊詩人が唄っています。

♪…勇ましく

未知を切り開く

われらこそが

冒険者也…♪

まずは自分も仲間をみつけなければと、店内を見渡しました。

はじめに目についたのは、屈強な男たちの席です。

湧かんばかりにエールを注ぎあう、

陽気な酒盛りをしていました。

…。話しかけてみようと思いましたが、

自分の声などがき消されてしまい、そんな雰囲気、

思わず尻込みしてしまいます。

次に見つけたのは、ローブ姿の集団です。

なにやら、わからない単語がたくさん聞こえてきます。

…。高度な魔術討論を交わしているようだとわかりましたが、

会話についていきません。

また、傍らの席では恋人たちが、誓いの杯をかかげていました。

…。馬に蹴られる気もないのに、

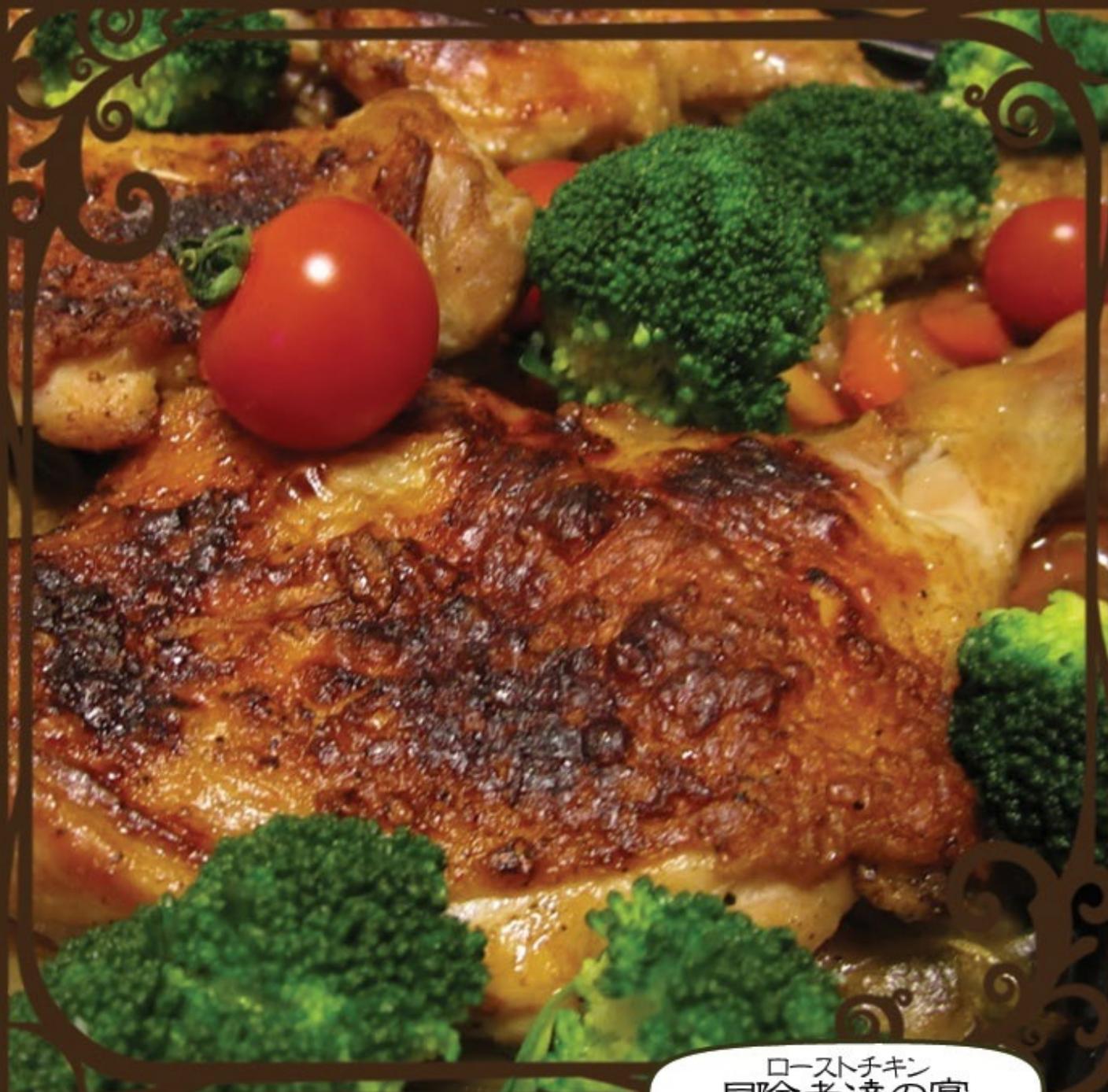
話しかけることはできません。

◆無精ひげの剣士>>よう、どうしたんだい。

お前さん、さっきこっちを見ていなかったか？

そんなとき「あなた」に声をかけてきたのは、  
あの陽気な酒盛りに加わっていたひとりです。  
空のグラスを掲げて、心地よさそうな足取りで  
こちらに向かって歩いてきます。

「あなた」は、このチャンスを逃すまいと意気込みました。  
ぎこちない挨拶を交わしながら、  
なにを話そうかと思いを巡らせていると…



ローストチキン  
冒険者達の宴

◆酒場の娘>>お待たせいたしました!  
当コースのメイン料理です。

熱々の肉にナイフがはしり、黄金色の肉汁がジュワリと垂れて  
極上の気配をふりまきます。

たまらない香ばしさは、どうやら他のヒトまでも魅了したようです。

◆ローブ姿の魔術師>>もう、この匂いには逆らえないわ。  
魔術師はすました顔をしてとなりの椅子をひき、

◆鍛冶屋のドワーフ>>この肉に合う酒は、コイツだ。  
ドワーフは酒瓶を持ってやってきて、

◆カニック姿の司祭>>私もお邪魔していいですか。  
司祭は空のグラスを差し出し、

◆瘦身の吟遊詩人>>やあみなさん、ウマそうですね。  
吟遊詩人はリュートを置いてこちらに向かってきます。

◆無精ひげの剣士>>あーもう、お前ら！肉が間に合わねえ！

◆酒場の娘>>はーい、ただいま追加のお肉お持ちしまーすっ！  
娘の元気な返事が、響き渡りました。

うまい酒とおいしい食事とテーブルに溢れるたくさんの人。  
古今東西、これらがそろえば、誰ともなく宴がはじまります。  
飲む人は飲み、食べる人は食べ、語る人は語る。  
「あなた」は笑い、時に「みんな」で歌い踊りました。

◆無精ひげの剣士>>気負わなくていいんだぜ。

この国ではやることなすこと、  
すべてが冒険につながっちゃう。  
冒険ってやつは、みんなをどこかで、  
いつのまにか仲間にしちまってるのさ。

にぎやかな時間のなかで剣士が呟いたひとことが、  
「あなた」の耳に残ります。

道なき道をきりひらく剣や盾に勝るとも劣らぬ、  
仲間というもののこころづよさ。  
自分だけでは踏み出せなかった一步の、  
その先を見た気がしました。



ORIENT



SEA



ICE

◆酒場の娘>>みなさーん、  
デザートの日ですよ。

シルクロードが繋いだ城塞の都  
大海原のむこうの常夏の楽園  
山を越えた先にある永久凍土

みんなが思い思いに「あなた」を冒険地へ誘うなか、  
街から続く三つの土地の話も聞けました。

…おそいかかってくる自然、てごわいモンスター、極限での戦い。  
志なかばで倒れるものも少なくないといひます。

◆無精ひげの剣士>>なんだ、まだ迷ってるのか。

なんなら俺達で行き先を決めてやろうか？

◆酒場の娘>>もう、みなさんったら!

そんなに心配なさらなくても大丈夫ですよ。  
さっきまでとは顔つきが全然違いますもの。

快活な娘の声が、割って入ります。

◆酒場の娘>>ね、冒険者さん。

「あなた」は、照れくさそうにうなずきました。

夜もふけ、楽しい時間も終わりを告げようとしています。  
集った仲間はいったん別の道をゆきますが、  
それを嘆くものはいませんでした。

「じゃあまた次の冒険地で」

再会を信じ、ドアベルを鳴らして去って行きます。

滑り込んだ夜風がほてった頬に静けさを落とします。  
最後の客となった「あなた」は、帰り際に小さな包みを受け取りました。

◆酒場の娘>>ぜひまたお越しになって。

こんどは、あなただけの  
冒険譚をきかせてちょうだい。

そのあたたかな笑顔に見送られながら、  
まだ見ぬ世界への期待を胸に。  
「あなた」はしっかりと前を見据え、  
たいせつな一步を踏み出したのでした。



「よきがあらライフを」

# 冒険者の酒場

ある日のメニューブック



冒険前の景気づけと冒険帰りの一杯に  
冒険者の酒場セット

(左から順に)

世界樹の雫

世界樹の若葉を使ったカクテル

ゴブリンエール

ゴブリン達も酔わす黄金エール

酒場のオヤジ特選セット

自家製の燻製タンとミルクチーズ

～盛り合わせプレート～

天使のオムレツ

クリームチーズを加えたメレンゲオムレツ

プフプフとろける天使の羽

レシピ参考

『パラダイス・カフェ』(ひうらさとる/講談社)巻より



～盛り合わせプレート～

潮風のマリネ

季節の魚と香味野菜のマリネ

チェスバニア産オリーブオイルとピネガーで





～盛り合わせプレート～

森の恵みカナッペ

川鮭と森のバターとのマリナーージュ

薔薇を模したカナッペ



～盛り合わせプレート～

ステンドグラスジュレ

新鮮野菜をコンソメで包んだ冷たいジュレ

口の中でサラと溶ける儚さ

レシピ参考『クッキングパヴァ』(うえやまとち/講談社)18巻より



～盛り合わせプレート～

シルクロード風チキンティッカ

スパイスに一昼夜漬けた砂漠の渡り鳥

柔らかくてジューシー



～盛り合わせプレート～

ローストビーフ

～ブラッティソース和え～

追熟させた遺跡牛のローストビーフ

真紅のソースは秘密のレシピ



～裏メニュー～

遙かなる大地のスープ

があら素材だけで作ったヴィシソワーズ

【本日品切れ】



～裏メニュー～

魔のトライアングルスープ

があら素材だけで作ったヴィシソワーズ

けれど一味違う味そして道

【本日品切れ】

レシピ参考:COOKPAD YAMATEI「魔界のスープ」



～常連さん限定裏メニュー～

嘆きのパスタ

死の海域に浮かぶ絶海の島

その孤独と嘆きが齎すのは…?



～本日のメインディッシュ～

ロースチキン  
冒険者達の宴

冒険者の酒場特製、大鳥手羽の炙り焼き!

パンと一緒に皿まで拭って



～セレクトデザート～  
ORENT(チャイ)  
サニーショコラとムーンサブル



～セレクトデザート～  
SEA(ハイビスカスティー)  
トロピカルフルーツのシャーベット



～セレクトデザート～  
ICE(ローストコーヒー)  
スノウフロマージュに凍土ハチミツを添えて



～オマケのお土産～  
旅立ちのケーキ  
ドライフルーツとナッツをたっぷり入れたケーキ